平成24年度　事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

継続

事務事業名称	中央通り地区整備													
コード	60	－	23	－	01	－	00	予算事業名	中央通り地区整備					
担当部署	都市計画部		都市整備課		事業推進担当			予算事業コード	会計	10	款	08	項	04	目	03

1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け　位置付けなしの場合

法令による実施義務　義務ではない

基本目標(章)	3章	人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち	根拠となる法令、条例等	土地区画整理法
方向性(節)	1節	都市の魅力の創出		
施策	2	都市拠点の整備	個別計画等の名称	川越市都市計画マスタープラン、川越市中心市街地活性化基本計画
細施策	3	中央通り地区の整備		

2. 事業の目的と概要

事業の目的（誰・何を対象に、何のために実施するのか）	中原町一丁目、新富町一丁目、連雀町の都市計画道路中央通り線沿道地区において、慢性的な交通渋滞の緩和や沿道商店街の活性化等を図るために実施する。
事業の概要（活動内容、実施手段・方法など）	都市計画道路中央通り線(W=20m)本川越駅前交差点～連雀町交差点間及びその沿道街区を施行地区とする川越都市計画事業中央通り沿道街区土地区画整理事業(A=約1.5ha)により、都市計画道路中央通り線や沿道街区等の整備を行います。

3. 実施にかかるコストと実績

（単位:千円）

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		450,471	297,452	455,537	201,095	319,158	
事業費	A	445,979	293,744	444,933	191,617	242,190	503,728
人件費	B	15,540	15,540	18,500	17,760	17,020	17,020
総コスト（C＝A＋B）		461,519	309,284	463,433	209,377	259,210	520,748
正規職員（1年間の従事人数）		2.10人	2.10人	2.50人	2.40人	2.30人	2.30人
臨時職員（1年間の従事人数）		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金	D	400,000	250,000	420,000	165,000	200,000	315,000
その他特定財源	E	0	0	1	3	6	6
市の財政負担（＝C－D－E）		61,519	59,284	43,432	44,374	59,204	205,742

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与は、事業費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

成果	：中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
成果	使用収益開始率	%	0.0	14.2	15.0	43.3	整理後の宅地面積に対する使用収益開始済み宅地の面積の比率
活動	総事業費ベース進捗率	%	22.5	36.9	58.9	68.4	事業計画上の総事業費に対する執行済み事業費の比率

中心指標の考え方	本事業は、成果指標を中心に評価する。
指標に基づく評価	事業計画に基づき概ね順調に進捗している。

5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1)　現在の課題と状況　課題はない

(2)　比較参考値（他市での類似事業の例など）

土地区画整理事業は都市基盤整備手法として非常に有用な手法で、埼玉県内においても施行済が410地区17,486.7ha、施行中が本事業を含めて146地区6,720.8haとなっている。

(3)　事業を廃止・縮小したときの影響

都市計画道路や沿道街区の整備が困難となり、交通渋滞の緩和や沿道商店街の活性化等の目的が達成できなくなる。

(4)　**所属長自己評価（今後の方向性）**　**継続**

平成25年度用地取得完了に向けて事業費等については、今後埼玉県と詳細な協議が必要になると思われるが、市の中心市街地でもあり早期の完成が必要である。